

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

## 1. 建物概要

建物名称	一正蒲鉾株式会社(仮称)本社第二工場建設工事	
建設地	新潟県新潟市東区津島屋七丁目77番の内	
用途地域	都市計画区域内	
建物用途	工場	
竣工年	2022年11月 予定	
敷地面積	14,432.90 m <sup>2</sup>	
建築面積	6,687.87 m <sup>2</sup>	
延床面積	8,503.29 m <sup>2</sup>	
階数	地上2F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2022年9月30日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{48.0}{39.0} = 1.2$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア	値
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	4.2		バリアフリー計画	Q2.1.1.3	-
			維持管理	Q2.1.3	-
			設備の更新性	Q2.3.3	4.2
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	2.8		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	2.6
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	-
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.3		節水	LR2.1.1	4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	1.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

既存工場の隣に第二工場を建設する計画です。本工場は、屋根はダブルパック、外壁下地にはフェノールフォーム板を設け、断熱性を確保しました。また窓ガラスは複層ガラス(Low-e複層ガラス)を使用し、省エネルギー性能にも配慮しています。

敷地外の人も使用可能な津波避難用のステージを設けることで、敷地周囲への貢献をしています。敷地西側・南側の道路側に面する緑地は帯状に残すことで、周辺地域への良好な景観を残す形としました。建屋は必要な部分のみ二階建てとして、周囲に向けて勾配屋根とすることとし、敷地周囲に圧迫感を与えない形状としました。

# CASBEE<sup>®</sup>新潟

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築) 2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	一正簿録株式会社(仮称)本社第二工場建設工事	階数	地上2F
建設地	新潟県新潟市東区津島屋七丁目77番の内	構造	S造
用途地域	都市計画区域内	平均居住人員	120人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,808時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年11月 予定	評価の実施日	2022年9月30日
敷地面積	14,433 m <sup>2</sup>	作成者	野島梓
建築面積	6,688 m <sup>2</sup>	確認日	2022年9月30日
延床面積	8,503 m <sup>2</sup>	確認者	野島梓



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 本工場は、屋根はダブルパック、外壁下地にはフェノールフォーム板を設け、断熱性を確保しました。また窓ガラスは複層ガラス(Low-e複層ガラス)を使用し、省エネルギー性能にも配慮しています。敷地西側・南側の道路側に面する緑地は帯状に残すことで、周辺地域への良好な景観を残す形としました。建屋は必要な部分のみ二階建てとして、周囲に向けて勾配屋根とすることとし、敷地周囲に圧迫感を与えない形状としました。	<b>その他</b> 敷地外の人も使用可能な津波避難用のステージを設けることで、敷地周囲への貢献をしました。	
<b>Q1 室内環境</b> 食品工場として衛生面・機能性を確保した計画としました。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の長いLED照明を採用し、維持管理の容易化を図りました。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地西側・南側の道路側に面する緑地は帯状に残すことで、周辺地域への良好な景観を残す形としました。
<b>LR1 エネルギー</b> 工場用途のため省エネ対象外の部分がほとんどですが、屋根はダブルパック、外壁下地にはフェノールフォーム板を設け、断熱性を確保しました。また窓ガラスは複層ガラス(Low-e複層ガラス)を使用し、省エネルギー性能にも配慮しました。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 手洗いは自動水洗、便器は節水型便器を採用し、節水に取り組む計画としました。内装はJIS、JASで定められたF☆☆☆☆もしくは大臣認定品を使用し、安全性に配慮しました。	<b>LR3 敷地外環境</b> 建屋は必要な部分のみ二階建てとして、周囲に向けて勾配屋根とすることとし、敷地周囲に圧迫感を与えない形状としました。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される